

3-3 地球温暖化の防止等、地球環境の保全

人類共通の重要課題である地球環境問題に対して、地球環境の汚染原因者として、積極的に負荷の低減に取り組んでいきます。

特に地球温暖化について、地球温暖化防止活動推進センターを設置し、県民・事業者のエネルギー消費の削減に向けた自主的な活動を支援していきます。

また、風力・太陽光などの新エネルギーの普及を進めていきます。

目 標

- ◇ 温暖化防止に向け、地域における温室効果ガスの排出抑制に取り組みます。
- ◇ 森林資源の保全と利用の調和により、地球環境の保全を推進します。
- ◇ オゾン層保護に向け、フロンの回収・破壊を推進します。
- ◇ 酸性雨の継続的な監視に取り組みます。
- ◇ 環境分野における国際協力を推進します。

施策の展開

(1) 温室効果ガスの排出抑制

ア 省エネルギーの推進

- ・ 環境自主行動計画の策定等を通じて、省エネルギーに配慮した計画的・継続的な事業活動を促進します。
- ・ エネルギーの使用の合理化、再生資源の利用等に取り組む中小企業に対し、指導員を派遣するなど、実状に即した解決策を具体的に支援し、エネルギー使用合理化設備の導入を促進します。
- ・ 省エネルギー診断や設備の改善、省エネルギー効果の検証等の包括的なサービスを提供するESCO事業に関する情報を提供し、その活用を促進します。
- ・ 「環境ふくい推進協議会」や「資源とエネルギーを大切にする運動福井県推進会議」、「アースサポーター」（地球温暖化防止活動推進員）等を通して、省エネルギーなど環境とエネルギーの関わりについて県民の理解を深めるとともに、家庭における省エネルギーの取組みを促進します。
- ・ 地球温暖化防止活動推進センターを設置し、情報提供などセンターの活動を通して自主的な取組みや団体の活動を支援します。
- ・ 街灯などの照明の効率化を通じて、省エネルギーの推進を図ります。

イ 新エネルギーの導入

- ・ 風力・太陽光など新エネルギー設備を率先して導入することにより、導入効果の検証を進め、その普及を図ります。
- ・ 県営住宅団地など県有施設において、太陽光発電設備を設置するモデル事業に取り組みます。
- ・ 福井県の気候、風土にあった省エネルギー設備や太陽光発電などの新エネルギー設備を取り入れた環境共生住宅の普及を図ります。
- ・ 水力発電とともに環境負荷の少ない風力発電を行い、石油代替エネルギーを確保します。
- ・ 地熱利用の融雪システムや雪のエネルギーを利用した空調システムなど、環境負荷の低減をめざした雪対策技術の開発を進めます。
- ・ 未利用有機性資源の多角的な利用および化石燃料の使用抑制を図る観点から、バイオマスエネルギー^{※1}としての利用の検討を進めます。



福井市国見岳風力発電所

ウ 環境負荷の少ない交通対策の推進

- ・ 不要なアイドリングや急発進の自粛、ノーマイカーデーの実施など、環境に配慮した自動車の使用に率先して取り組むとともに、その普及を図ります。(再掲)
- ・ 公用車への低公害車の率先導入に努めるとともに、県民や事業者への低公害車の普及を図ります。
- ・ 環境負荷の少ない車両による配送を求める「グリーン配送」の導入や物流の効率化について検討を進めます。
- ・ 電車やバスなどの公共交通機関を利用しやすい都市づくりについて検討を進めます。
- ・ 駅周辺での駐車場や駐輪場の整備によるパークアンドライド、サイクルアンドライド^{※2}の推進等により、電車・バスなどの公共交通機関の利用を促進します。
- ・ コミュニティバス、福祉バスの導入などの取組みを促進します。

※1 バイオマスエネルギー：樹木などの生物体（バイオマス）が生成・排出する有機物から得られるエネルギーのことで、太陽光・空気・水・土壌の作用で生成されるため再生可能であることが特徴

※2 パークアンドライド、サイクルアンドライド：郊外の駅周辺まで自動車または自転車で行き、公共交通機関に乗り換えて都心部へ入る方式